

がんゲノムプロファイリング検査に必要な検査材料の提供について

2021年10月1日

JCHO 中京病院 がんゲノム外来

がんゲノムプロファイリング検査は組織検体の固定の条件や腫瘍量によって結果が大きく左右されます。高額で時間のかかり再検査の難しい検査であるため、検査の成功のために貴院のご協力が不可欠です。この依頼文書を貴院の病理医にもお渡し下さい。組織検体の送付あるいは患者さん持参にあたり以下の必要事項をお読み頂き、適正な組織標本の選択と提出による確かな検査結果の取得のためにご協力をお願いいたします。

①FFPE ブロックでの検体提供が最善です。

標本中の腫瘍の大きさと腫瘍細胞含有率により検査に必要な標本枚数が異なります。また薄切された未染色標本では DNA、RNA の品質の低下がより早く進むといわれています。そこで、送付くださるブロックに対し、当院の病理専門医がパネル検査に使用可能かどうかを判断し、可能と判定された場合にのみ薄切過程に進みます。薄切は検査会社への発送の直前に行い、検体提出後は速やかに FFPE ブロックを貴院に返却します。

検査のために必要な腫瘍量と核酸の品質を確保し、解析不能の結果を回避し正確なゲノムプロファイル検査結果を患者さんにお届けできるよう、FFPE ブロックでの提出をよろしく願います。

②FFPE ブロックは病理医の判断のもと、以下の条件で選択してください。

- 適正なホルマリン固定がなされている
- 表面積 25mm^2 ($5\text{mm}\times 5\text{mm}$)以上の腫瘍組織を含むあるいは切片の合計体積が 1mm^3 以上になるような大きさである
- 有核腫瘍細胞の割合が 30%以上である
- 酸脱灰処理を行っていない

*適正なホルマリン固定の条件については「ゲノム診療用病理組織検体取り扱い規程 (日本病理学会)」を参照ください。

*FFPE ブロックの保管期間が 3 年以下の検体が推奨されます。

*原発巣・転移巣どちらでも可能です。

③FFPE ブロックでの提出が難しい場合には

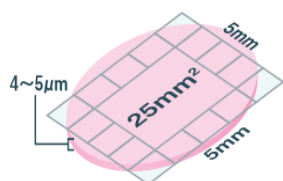
②の条件を満たすことを確認後、未染スライドと HE 標本を作製してください。
薄切後は速やかに発送してください。

- 腫瘍の面積 25mm^2 以上の場合(外科切除材料など):厚さ $4\sim 5\mu\text{m}$ の未染スライド 10 枚と HE 標本 1 枚。
- 表面積 25mm^2 未満の場合(針生検など):合計体積が 1mm^3 以上となるよう未染スライドの枚数を調節してください。
- 薄切時はコンタミネーションを防ぎ、核酸の分解されるような手技を避けてください。

④別紙の検体送付書に必要事項を記入し、ブロックまたはスライドと、貴施設の病理診断報告書のコピーを一緒に郵送してください。

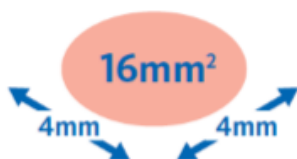
【FoundationOne CDxの場合】

未染色スライド $5\text{mm}\times 5\text{mm}$ 厚さ $4\sim 5\mu\text{m}$ ・・・10 枚程度



【NCCオンコパネルの場合】

未染色スライド $4\text{mm}\times 4\text{mm}$ 厚さ $10\mu\text{m}$ ・・・5 枚程度



その他不明な点がございましたら以下までお問い合わせください。

JCHO 中京病院 検査部 病理部門
TEL 052(691)7151 内線7802

別紙:検体送付書

提供元の病理医の先生方へ

下記にご記入頂き、検体(FFPE ブロックを推奨)と共にお送りください。

施設名

患者名(貴院 ID)

(_____)

検体採取日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 採取部位 _____

送付検体 FFPE ブロック(推奨) (_____)個

薄切標本 (_____)枚

HE 標本 (_____)枚

病理診断報告書 (_____)枚

その他(_____)

検体に関する問い合わせ先

部署名 _____

担当者名 _____

連絡先 (_____) _____